

# 令和4年度 学校教育自己診断の結果と考察

## 1、回収率

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
児童生徒(%)	81/273(30%)	143/272(53%)	187/271(69%)
保護者(%)	158/268(59%)	220/267(75%)	221/266(83%)
教職員(%)	107/123(87%)	126/129(98%)	127/127(100%)

・紙でのアンケート配付希望:3家庭(1家庭が生徒分・保護者分を提出。)

・回収率は全体で低下

## 2、集計結果について

回答欄の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計を肯定的評価

「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計を否定的評価として捉えました。

肯定的評価は70%以上を達成のための基準とし、否定的評価は30%以上を課題として捉えています。

(コンマ以下の%の数値は全て四捨五入で記入。)

(1) 児童生徒アンケート		肯定的	否定的
1	学校へ行くのは楽しいですか。	94%	4%
2	先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。	52%	6%
3	先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。	87%	3%
4	先生は、マナーやルールなど、勉強以外のことも教えてくださいか。	96%	2%
5	学校の給食はおいしいですか。	97%	0%
6	先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	95%	1%

・70パーセント以上の肯定的評価基準に達したものは、6項目中5項目。

・30パーセント以上の否定的な評価は、6項目中0項目。

・全項目で肯定的回答率が増加(昨年度比:5%~12%の改善)

・達成に達しなかった項目「2:先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。」

昨年度;肯定的(40%→52%)、否定的(6%→6%)、わからない(54%→42%)

小学部は、昨年度比で悪化 肯定的(41%→31%) 否定的(2%→14%)

中学部は、昨年度比で改善 肯定的(38%→48%) 否定的(13%→3%)

高等部は、昨年度比で改善 肯定的(40%→77%)、わからない(53%→23%)

(2) 保護者アンケート		肯定的	否定的
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	92%	6%
2	教職員は、子どもの実態・課題にあった授業を行っている。	89%	1%
3	教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育（進級、進学、就労等）を行っている。	83%	1%
4	教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	66%	1%
5	教職員は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にする心や社会ルールを守る態度の育成に努めている。	88%	0%
6	教職員は、子どもの様子や必要な事項を懇談会や授業参観、連絡帳、便りなどによって発信している。	98%	1%
7	教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。	92%	3%
8	教職員は、授業参観や学校行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	90%	4%
9	教職員は、子どもの障がいについて理解している。	90%	4%
10	教職員は、子どもたちの学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	95%	0%
11	教職員は、パソコン、大型テレビ、iPadなどのICT機器を効果的に活用している。	85%	2%
12	教職員は、防災対策、防災教育を適切に行っている。	84%	2%
13	教職員は、子どもの個人情報の取り扱いに配慮している。	78%	2%
14	教職員は、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	95%	2%
15	教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。	94%	1%
16	子どもは、学校の給食を楽しみにしている。	88%	8%

・70パーセント以上の肯定的評価基準に達したものは、16項目中15項目。

・30パーセント以上の否定的な評価は、16項目中0項目。

・昨年度比:16項目中10項目で肯定的評価が上昇(1%~7%)

・達成に達しなかった項目「4:教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」

昨年度比:肯定的(64%→66%)、否定的(1→1%)、わからない(35%→33%)

(3) 教職員アンケート		肯定的	否定的
1	教職員は、教育活動について、教職員間で日常的に話し合っている。	93%	5%
2	教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	89%	6%
3	教職員は、命の大切さや社会のルールを守る態度の育成をめざした生活指導をしている。	93%	2%
4	教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	89%	7%
5	教職員は、児童・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰、不適切な指導を見逃さない体制を整えている。	93%	5%
6	教職員は、児童・生徒や保護者が悩みや疑問を気軽に相談できる体制を整えている。	93%	5%
7	教職員は、学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	95%	2%
8	教職員は、児童・生徒の学校での様子を、連絡帳や便り、HP などを通して積極的に伝えている。	98%	0%
9	教職員は、児童・生徒の実態・課題にあった授業を行っている。	93%	4%
10	教職員は、保護者が授業参観や学校行事に参加しやすいように配慮している。	90%	6%
11	教職員は、児童・生徒の学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	93%	7%
12	教職員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を日々の指導に活かしている。	88%	5%
13	教職員は、防災対策、防犯対策を適切に行っている。	94%	4%
14	教職員は、学年会、部会、分掌などの各種会議を、意見交換や合意形成の場として有効に機能させている。	82%	12%
15	教職員は、食育に関する指導を工夫し、児童・生徒の興味・関心を広げている。	79%	13%
16	校長は、自らの教育理念や学校運営の考えを明らかにし、リーダーシップを発揮している。	93%	4%
17	学校納付金の使い道を概ね理解できている。	84%	11%
18	行事の計画について、事務職員と教員の連携が取れている。	84%	11%
19	児童・生徒の健康状態について、保健室と教員で共有できている。	95%	2%

・70パーセント以上の肯定的評価基準に達したものは、19項目中19項目。

・30パーセント以上の否定的評価は、19項目中0項目。

3、自由記述「学校をより良くするためのご意見・ご感想等がありましたらご記入ください。」

保護者 23件(小 5 件、中 11 件、高 7 件) 教職員 8件 合計 31 件

保護者の自由記述には、子どもたちは楽しく通うことができている、教職員への感謝と気遣いの言葉が多くありました。保護者および教職員を合わせると、参観日の設定、保護者と学校との情報共有、教職員の障がい理解、人的・物理的環境の改善、業務過多への対応、個別の指導計画(通知表)についての記述が複数ありました。

#### 4、まとめと今後に向けて

##### (1) 回収率

児童生徒、保護者、教職員全ての回答対象において、回収率は低下した。

回収率改善において、各学部・学年において改善策を協議しました。学校評価検討委員会で改善策を集約して協議を進めています。特に教職員に関しては100パーセントになるように改善に努めていきます。

##### (2) 児童生徒アンケート

「2:先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。」 肯定的評価が70%未満

・保護者アンケート「3.教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育（進級、進学、就労等）を行っている。」及び「7.教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。」では肯定的評価が、それぞれ83%、92%。

・教職員アンケート「4.教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。」では肯定的評価が89%。

・昨年度のアンケート結果より中高等部では児童生徒がアンケートの質問を理解しやすくする工夫が必要ということで、2点変更を行った。①文言の変更:昨年度「2:先生は、あなたが大きくなった時のことを教えてくださいか。」→今年度「2:先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。」に変更した。

②高等部ではアンケートに中学部と同様のイラストを入れた。

その結果、質問がイメージしやすくなり、評価の改善につながった可能性が考えられる。小学部では「しごと」という文言が入ることで、逆に評価の悪化につながった可能性が考えられる。

→来年度も児童生徒アンケートの質問の文言を理解しやすくする工夫が必要と思われる。

中・高等部は今年度と同じアンケート内容、小学部は「しごと」について削除したものを配付する。

##### (3) 保護者アンケート

・「4:教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」が、肯定的66% 否定的1%、「わからない」が34%と昨年度までと同様に他の質問と比較して多い。

・保護者アンケート「15.教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。」では肯定的評価が94%を越えている。

・児童生徒アンケート「3.先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。」では肯定的評価が、全体で87%を越えている。

・1学期実施の「いじめに関するアンケート」では、本校として認知したいじめ事案はありませんでした。

→昨年度までと同様、いじめを実感する場面がないので、回答として「わからない」が多くなると考えられる。

実際の場面を想定して回答ができるように、文言の変更をして実施する

##### (4) 教職員アンケート

・全項目で肯定的評価70%以上、否定的評価30%以下でした。

・昨年度肯定的評価が基準未満であった2項目は研修や学部会における勉強会等、質問の文言の改定によって改善された。

「17.学校納付金の使い道を概ね理解できている。」(昨年度:肯定的評価63%→84%)

「18.行事の計画について、事務職員と教員の連携が取れている。」(昨年度:肯定的評価65%→84%)